

【参考】阪神シニアカレッジの概要

1 設置のねらい

阪神シニアカレッジは、阪神地域の特性や課題に対応した生涯に亘る学びを応援するとともに、地域づくり活動等の社会貢献に必要な知識や技能を習得できるよう、総合的・体系的な学習の場として運営されています。高齢者の生きがいづくり、社会参加の推進拠点が阪神シニアカレッジです。

2 これまでの経緯

- H 9.4 「4年制老人大学」を宝塚市に設置。運営を(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会(現(公財)兵庫県生きがい創造協会)に委託
- H 9.5 園芸学科(宝塚)、健康福祉学科(西宮)、国際交流学科(尼崎)、共通学科(宝塚)を設置し、「兵庫県阪神シニアカレッジ」と命名
- H16.6 地域活動実践講座開講
- H19.4 国際交流学科を国際理解学科に改称
- H21.5 阪神ひと・まち創造講座開講
- H25.4 健康福祉学科を健康学科に改称
- R 1.4 4か所に分散していた拠点を移転集約し、現在の新学舎で講義を開始

3 現 状

阪神シニアカレッジには、令和7年1月現在、611名の学生が次の施設や学科・講座で学んでいます。

(1) 学習拠点

場 所	宝塚市東洋町2番5号(阪神健康交流センター3F・4F・屋上農園) [阪急逆瀬川駅徒歩約15分]	
規 模	2,000 m ² (別途、屋上農園)	
機 能	学科教室	教室数6
	交流スペース	グループ室4、同窓会室、地域活動支援センター、情報学習室

(2) 運営主体 (公財)兵庫県生きがい創造協会(県から補助を受けて開設・運営)

※同協会は、建物を県から無償貸借しています

(3) 学科・カリキュラム

① 阪神ひと・まち創造講座(2年制)

神戸・阪神地域の歴史、文化、産業、自然などを知るとともに、地域社会における人間関係のあり方や様々な地域活動について学び、具体の地域づくり活動を行います。

(講義時間) 週1日(1講義90分)、年間30日

(学年定員) 30名

(入学資格) 56歳以上の神戸・阪神地域在住者

(受講料) 30,000円/年

② 高齢者大学講座(4年制)

阪神間の立地を生かし、様々な分野の第一線で活躍する研究者や有識者等を講師に迎え、生涯に亘る学びを展開しています。

(講義時間) 週2日(1講義90分)、年間60日(一般教養・専門講座各30日)

(入学資格) 56歳以上の神戸・阪神地域在住者

(受講料) 60,000円/年

区 分	学年定員	内 容
園芸学科	50	家庭園芸(花卉、野菜)の基礎から実践、更に応用まで、屋上農園も活用しながら学ぶ
健康学科	50	健康管理や疾病とその予防、スポーツ・軽運動など、健康寿命の延伸に向けた体系的な学習・実践に取り組む
国際理解学科	50	世界の多様な地域の文化・社会・宗教・経済を学んで国際理解を深めながら、グローバルな課題への知見を高める

(4) 学びを地域づくりに生かす

① 地域活動支援センター

現役学生や卒業生が行う地域づくり活動、ボランティア活動、コミュニティビジネスなどをサポート。現在、35グループが登録し、様々な活動を行っています。

② クラブ活動

学生は自由に選択して参加が可能。現在25のクラブが交流を深めながら活動中。毎年10月には文化祭が開催され、日頃の活動の成果を発表しています。

テニス、グラウンドゴルフ、ストレッチ&リズムダンス、健康体操、太極拳、社交ダンス、スポーツ健康吹矢、ダーツ、パソコン、写真、書道、川柳、俳句、朗読クラブ 棕の実、朗読の会 マジッククラブ 同友会、健康麻雀、バルーンアート、外国を知る会、うたごえの会、オカリナ、歴史探訪、歩こう会、山楽会、スワングラブ

4 運営主体

(公財)兵庫県生きがい創造協会は、前身の兵庫県高齢者生きがい創造協会が昭和52年に設立され、以来、本県の生涯学習の一大拠点として活動してきました。

現在では、「阪神シニアカレッジ」のほか、加古川市において、「いなみ野学園」「ひょうごラジオカレッジ」など生涯学習の振興に関わる様々な取組を進めています。

